

Rowing Boat

ぶれない走りに機走可、タフ仕様と
強力布陣のローボートシリーズ



手漕ぎでも、左右にぶれず
スムーズな走航が自慢の
ジョイクラフトのローボート。
2020年は、トランサムボード付きモデルなど
人気の従来ラインナップに加え、
岩場や浮遊物に強い2重底モデルを拡充。
また、トランサムボード仕様以外の
ローボートにも、すべてに
モーターマウントを取り付けられるので、
エレキや2馬力、1.2馬力エンジンを
装着することができます。
機動力抜群のローボートは、
さまざまなフィールドでお使いいただけます。

ジョイクラフトのローボートは 他社を圧倒する高機能が満載!



ココが違う! ①

高性能フロアシステム

①高圧エアフロア

ジョイクラフトの主力。板底に比べてはるかに軽量で、継ぎ目がなくぐにやくにや曲がらずに、快適な乗り心地とハイスピード走航を実現します。万一チューブの1気室の空気が抜けても、エアフロアの浮力で高い安全性が確保できます。

②ジョイクラフトの板底

頑丈な7ミリ合板を用いた4枚全面板底。ジョイント部は全幅接続され、左右のねじれが生じず快適です。



ココが違う! ④

速く楽に漕げるデザイン

ジョイクラフトのローボートを旧来のモデルと比べるとそのフォルムの違いは歴然です。スマートなバウデザインと長い水線長により速く楽に漕ぐことができ、長距離移動も楽々こなせます。また、前後のリフティングハンドルやオールストッパー、ロッドホルダーなど、機動性や安全性を高める装備も充実しています。



ココが違う! ②

強靱基布のタフネス構造

ジョイクラフトボートのチューブは550デシテックス(TWは1,100デシテックス)。底布は全シリーズ1,100デシテックス。チューブ、底布とも235デシテックスという大多数のボートに比べ、はるかに強靱です。特にKEMとKEシリーズは550デシテックス「40×40本」と織り密度が高く、圧倒的な強度を誇ります。

ローボートチューブの基布



ジョイクラフトは550デシテックス(TWは1,100デシテックス)。一般の大多数は235デシテックス。

ココが違う! ⑤

直進性を高めるダイナキール

高さ7cm、長さ35cmのダイナキール付き。左右にぶれずにまっすぐ走ります。進路が安定するため、目的地までロスなくたどり着けます。オプションのダイナキールホイールを装着すれば陸上での運搬も楽々行えます。



一般のローボート



ダイナキールを装備したジョイクラフトのローボート

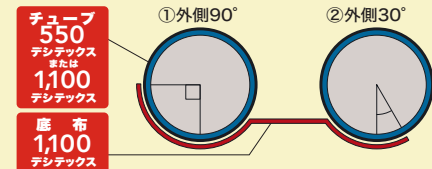


ココが違う! ③

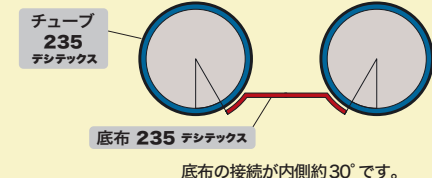
2重貼りでボートカバーいらず

チューブと底布の貼り合わせ部分がいちがいが特長。2重貼りで強化した船体は、タフな環境下でもボートカバーを必要としません。

ジョイクラフトのボート：2重貼りの2パターン



大多数のボート



ココが違う! ⑥

エンジン取り付け可能

ジョイクラフトのローボートはすべてエンジンを付けて走航できます。KEMとTRMは小さなトランサムがボート本体にしっかり固定されています。また、それ以外のシリーズはモーターマウントを装着でき、エンジンが使用可能です。スモールトランサム、モーターマウントは、竿受けや魚探のセンサーも取り付けられます。

2馬力エンジン装着例

